

県内経済の動き

概 況

〔2023年11月～2024年1月の動き〕

県内経済は緩やかに回復

鉱工業生産指数（11月）は21カ月連続で前年同月比低下、通関輸出額（12月 細島港）は8カ月ぶりに前年同月比減少した。百貨店・スーパー販売額（12月 全店ベース）は2カ月ぶりに前年同月比減少、「軽」を含む乗用車の販売台数（1月）は2カ月連続で前年同月比減少した。新設住宅着工戸数（12月）は2カ月連続で前年同月比増加し、公共工事（1月 保証対象請負総額）は7カ月連続で前年同月比増加した。有効求人倍率（12月）は前月比▲0.01の1.36倍で、1月の企業倒産は前月比3件増の4件、負債額は同4億43百万円増の4億57百万円となった。

新型コロナ5類移行後、初の年末年始を迎え、県内各地はにぎわいをみせた。緩やかな景気回復が続くが、一部指標は悪化しており、物価上昇の影響も懸念される。